

# 特集 地方創生の推進に貢献する化学工学

「地方創生」が2014年に国の成長戦略として掲げられてから10年近くが経過した。この戦略は人口および政治、経済機能が大都市圏に集中している現在の社会構造を是正し、分散型社会の実現により地方を活性化することで国全体の社会、経済発展を図るものである。政治、経済の面では政府関係機関の地方移転や交付金による事業支援が挙げられる。一方、工学の立場からは、地域に根ざした一次、二次産業を支援、活性化する技術の開発や、地域の特性を活かした新産業の創出などへの寄与が期待される。加えて、地域の生活を支えるインフラストラクチャーの整備と産業への活用、さらに地域の将来を担う人材の育成など、工学が地域に貢献できる分野は多岐にわたる。

本特集では、産業からインフラ、人材育成までを対象に、主に化学工学をベースに地方創生に貢献している、あるいは将来の貢献が期待される取り組みをご紹介します。

(編集担当：長嶺信輔・高木道哉・工藤真二)†

## ■産業

バイオマスを原料とする化成品製造のためのサプライチェーン最適化技術 外輪 健一郎

秋田スギの葉テルペンの利用技術開発 進藤 昌

産官学連携による畜産衛生への貢献 山中 真也

## ■インフラ

下水道資源の農業への活用－下水処理水を活用した酒造好適米栽培に関する社会実装型研究－ 増田 周平

地域と技術を繋ぎ、社会実装を加速する情報基盤の開発 兼松 祐一郎

## ■人材育成

「みどりの食料システム戦略」を推進する地域発イノベーション 戸谷 一英・太田 空良・上野 裕太郎・渡邊 崇

地区サイズの〈化学工学セミナー〉の効用と課題－福島地区CEセミナーの試行錯誤－ 車田 研一

化学工学会播磨産業懇話会の活動と設立経緯 佐藤根 大士・松田 聡・前田 光治

† Nagamine, S. 令和4・5年度化工誌編集委員(9号特集主査) 京都大学大学院工学研究科化学工学専攻  
Takagi, M. 同上 花王(株)加工・プロセス開発研究所  
Kudo, S. 同上 九州大学先端物質化学研究所